

清和中便り

第6号

令和6年7月19日
文責 校長 山本祥博

命より大切なものはない

早朝の元気な蝉の声に本格的な夏の訪れを感じます。今のところ大雨による大きな災害も聞かれず、このまま無事に梅雨が明けるとを願っているところです。

いよいよ明日から夏休みに入ります。今日の終業式では1つだけ伝えたことがあります。それは「命を大切にすること」です。長い休みの間には、何があるか分かりません。大切なのは「危機を感じる力」「危険を予測する力」です。8月28日の2学期始業式で皆さんの笑顔に会えることを楽しみにしています。

「生き方を考える集会」を実施しました

昨日、今年度第1回の「生き方を考える集会」を実施しました。今回の講師は、甲佐町在住の小柳花凜さんでした。幼少の頃からまさに明朗活発であった小柳さん。中学生時代、思いもよらない大病に見舞われ、それまでの生活が一変しました。そこから新たな夢を見つけ、病気に向き合いながら挑戦し続けている方です。中学校時代の恩師であった教頭先生、松本先生、丹生先生とのつながりで、貴重な話を聴くことができました。まさに「夢の実現に向け、挑戦し続けている」方でした。



小柳花凜さんに聞きました。

○乗り越えられた原動力は。

「家族の支えも大きかったけど、私らしくいること。自分を好きでいること。愛すること。自信を持つこと。」

○辛く苦しい経験は、今の自分にとってどんなものになっていますか。

「この経験は、私だったから経験できたことだと思っている。大きな病院に入院したときに自分より重い病気を抱えて、必死に頑張っている人たちを見て、もっと頑張ろうと思った。病気になったからこそ出会うこともたくさんあった。すべての経験が自分にとって生きている。」

○中学生に向けて伝えたいことがあれば。

- ①自分を大切にしてほしい。「ナルシストでいよう」
- ②今は今しかない。何事も自分次第。全部自分に返ってくる。
- ③やってみたいことを言葉にしよう。人に頼っていい。

○これからの夢は？

「もっともっといろいろな所で話をしたい。自分にとってこの清和中での講演は自分の夢へのきっかけでした。」

○命とは？

「命より大切なものはない。いつ命がなくなってもいいような毎日を送りたい。限られた時間を無駄にしたくない。」

本校HPにもカラー写真で掲載しています。ぜひご覧ください。